

アル・アクサ洪水第345日目：イエメン報復 | ハマス再活性化 | ナブルスの抵抗 | 兵士負傷

The Palestine Chronicle, 2024年9月15日、脇浜義明訳、田中一弘補訳 *脚注は訳注

イエメンからイスラエルに弾道ミサイルが到達した。(Photo: video grab)



主要事項

* イエメンから飛来した弾道ミサイルがテルアビブ付近の着弾し、避難所に急いでいたイスラエル人9人が負傷した。

* フーシ派政治局員のアザム・アル・アサドは「イスラエルへのサプライズはまだまだ続くぞ」とヘブライ語でツイートした。

* イスラエル軍ラジオ放送が、この2日間で約150発のロケットが南レバノンからイスラエル北部へ発射されたと伝えた。

* ガザ保健省によれば、10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は41,182人で、負傷者は95,280人になった。

最新情報

9月16日 03:15am

* アル・ジャジーラ：イスラエルの上ガリラヤのアヴィヴィームでロケット飛来を警戒して警報が鳴った。

* パレスチナ・メディア：イスラエル軍戦闘機がガザ回廊中部を空爆し、地上占領軍がガザ市南部を砲撃した。

* ガザ市民防衛隊：ガザ市内の民家へのイスラエルの空爆で、子ども2人と女性1人を含む6人のパレスチナ人が死亡した。

9月15日 11:00pm

* アル・アクサ殉教者旅団：我々はバラータ難民キャンプを襲撃するシオニスト敵兵の軍車両を非常に爆発性が高い「ゾフィー」爆弾で攻撃し、直撃した。

* カン（イスラエル政府高官の言葉として）：イスラエルは地国境を画定するために国境線を引こうという米国の提案を、挑発になるとして、拒否した。イスラエル高官は停戦交渉で合意に達する可能性は低く、北部戦線では紛争がエスカレートすると考えている。

*イスラエル軍：我々がゴラン高原で撃ち落とした無人機2基の破片で兵下たちが軽傷を負った。

*カン：ハマスは次の段階のガザ回廊戦争の準備をしている。ハマスの組織回復の速さはわが軍がハマスの戦闘能力を破壊する速度より早い。

*元安全保障会議議長：ベンジャミン・ネタニヤフは、イスラエルが深刻化する戦略的落とし穴に嵌っていくという困難な状況を、隠せない。

9月15日 9:30 pm

*カン：北部戦線の拡大に関して、ネタニヤフ首相とヨアブ・ガラント国防相の間に大きな意見の違いがある。

*アル・マヤディーン¹：ガザ市のザイトゥーン地区へのイスラエル軍の砲撃で5人の殉教者が出た。

*ガザ政府メディア・オフィス：戦争開始以降命を失った殉教者のうち16,795人が子どもである。占領軍はこのジェノサイド戦争を始めてからガザ回廊で3584回の虐殺を犯した。

*アル・マヤディーン：イスラエル占領軍はラファ市西部の住宅ビルを爆破した。

9月15日 8:00 pm

*アル・アクサ殉教者旅団：我々はネツァリム回廊に駐屯する敵兵と車両を短距離用107mmミサイルで攻撃した。

*アル・マヤディーン：占領地エルサレムの旧市街のバブ・アル・アムード（ダマスカス門）で若者が一人射殺された。厳戒態勢が引かれ、占領下のエルサレム旧市街の門が閉じられた。

*イスラエル・メディア：エルサレムでイスラエル警官がナイフで襲われて怪我をした。

*ガザ政府メディア・オフィス：10月7日以降イスラエル軍によって殺害されたジャーナリストの数は173人となった。

*レバノン・メディア：イスラエル軍戦闘機群が連続的に南レバノンの町マハムーディアを空爆した。

*ヒズボラ：我々はシュロミ入植地で敵兵が使用している建物を適切な武器（自爆ドローン）で攻撃し、直撃した。

*イスラエル・メディア：レバノンからの砲撃が「軍事地域」に直撃した。レバノンから発射されたドローンで3人が負傷したという報告がある。

9月15日 7:00 pm

*アル・ジャジーラ：レバノンからのドローン飛来を警戒し、上ガリラヤのガジャールやその他の町で警戒警報が鳴った。

*イスラエル国家安全保障研究所：フーシ派はイスラエル中心部に到達するミサイルを開発する能力を持っていた。この事実は、ドローンの脅威に加え、イスラエルの脅威を増大させている²。

9月15日 6:00 pm

*フーシ派副議長（アル・ジャジーラの取材で）：我々は敵地イスラエルのどこでも躊躇なく攻撃する。我々はイスラエルの防衛システムの研究と合わせて攻撃武器を開発している。

*イラク・イスラム・レジスタンス：我々の戦士はハイファをドローンで攻撃した。

*アル・マヤディーン：イスラエル軍はガザ市南部のアッサブラ地区のアブ・シャリア広場周辺を砲撃した。イスラエル軍はヌセイラト難民キャンプ北西部を砲撃した。イスラエル軍はラファ市西部を空爆した。

9月15日 5:00 pm

*ハマス：イスラエルは亡命を求めるアフリカ人難民をイスラエルへの居住認可と引き換えに占領軍に入れてガザで戦わせている。これはならず者国家の道徳的退廃を表す証拠である。

*アブドル・マリク・アル・フーシ：今日は新しい誘導ミサイルを使って軍事行動を行った。我々の軍事行動は、ガザ封鎖とガザ攻撃が続くかぎり続き、時とともに規模が大きくなるだろう。我々のガザとレジスタンスを支援する占領軍への行動は第5段階に入った。

*アル・ジャジーラ：イスラエル北部のキルヤット・シュモナ南東部のフラ溪谷にある町シャアル・ヤシュフで空襲警報が鳴った。

*イスラエル・メディア（アル・ジャジーラの報道を引用）：イエメンからテルアビブに向けて発射された一発のミサイルのために、236万5千人のイスラエル人がシェルターに逃げ込んだ。

9月15日 4:00 pm

*ハマス軍事部門報道官アブ・オベイダ：我々は今朝イエメンの武装組織がテルアビブ近くの軍事施設を標的にして行った質の高い軍事行動を称賛する。また、我々はパレスチナの兄弟の側に立ち、パレスチナの大義のために犠牲を問わないイエメン人民の態度に深く感謝し賞賛する。

¹「アラブの独立メディア」。

²すでに7月にフーシ派のドローンがテルアビブに着弾して死傷者を出したことがある。

*ハマス：ハマスはイエメン軍とフーシ派がシオニスト国の中心部をミサイル攻撃したことを賞賛する。我々はそれをシオニストのパレスチナ人民及び同胞イエメンとアラブ地域に対する攻撃に対する当然の反撃と考える。

*チャンネル12：軍はロン・シャーマン、ニック・ベイザー、エリア・トレダーノの3人の人質家族に、3人はイスラエル軍のガザ攻撃の中で死亡したと告げた。

*カン：軍はレバノン国境地域で不審斜に発砲したが、怪我人もなく事件は終わり、詳しい発表もなかった。

9月15日 3:00 pm

*イスラム聖戦：我々はフーシ派のイスラエルへのミサイル攻撃を称賛する。あの攻撃で敵の危機を悪化させ、敵の弱さが明らかになった。

*エネルギー相エリ・コーエン：前にフーシ派はイスラエル攻撃の高い代償を支払ったことがある。今日のミサイル攻撃に対しても高い代償を支払うことになるだろう。

*レバノン・メディア：イスラエルは南レバノンの町ラシャヤ・アル・ファハーリー帯を空爆した。

*PFLP：イエメンのイスラエル内部への弾道弾攻撃はイスラエルに負けない抑止力があることとシオニスト組織の脆さを明らかにした。

*イエディオト・アハロト：イスラエル政府はヒズボラのミサイルを用意して、ガリラヤ西部の町の住民に集会を控え、頑丈で安全な場所にいるように呼びかけた。

*WALLA：テルアビブ地方裁判所は10月7日のノヴァ音楽祭の犠牲者が国家相手に起こした訴訟を棄却せよという国家の要求を拒否した³。

9月15日 2:00 pm

*チャンネル12：今朝から合計60発のロケットが南レバノンからイスラエル北部へ向けて発射された。

*パレスチナ・メディア：イスラエル占領軍がガザ市西部のアル・アズハル大学一帯を攻撃し、2人のパレスチナ人が死亡し、他に何人かが負傷した。

9月15日 1:00 pm

*イスラエル軍：イスラエル軍はイエメンから発射されたミサイルを迎撃できなかったことを発表し、それが空中で砕けて、その破片がベン・グリオン空港付近に落ちたと言った。

*ネタニヤフ首相：フーシ派にはイスラエルに危害を加えると必ず大きな代償を伴うことを思い知らせてやる。

*チャンネル12：イエメンのミサイルのために数十万人がシェルターに駆け込んだ。

*パレスチナ・メディア：ガザ市のアル・ザイトゥーン地区のサラハ・アル・ディン通りを標的にしたイスラエル軍の爆撃で5人のパレスチナ人が死亡した。

*レバノン保健省：南レバノンの町アダイセーへのイスラエル軍の爆撃で4人の人が負傷したが、4人が誰であるかはまだ分からない。

*イスラエル軍ラジオ放送：南レバノンの村を爆撃する前に避難勧告ビラを撒こうというのは第769地域旅団の私的提案で、軍上層部は承認しなかった。

9月15日 12:00 pm

*レバノン国営通信：イスラエルは南レバノンの2つの村を砲弾と白リン弾で攻撃した。

*ガザ保健省：10月7日から続いているイスラエルのガザ・ジェノサイドで死亡したパレスチナ人は41,206人で、負傷者は95,337人になった。

*ヤヒヤ・サリー（フーシ派(正式にはアンサール・アッラー)の軍報道官)：我々はイスラエルの港町ヤッファにある軍事施設を極超音速ミサイルで攻撃する質の高い軍事行動を行った。この軍事行動は第5段階の行動で、我々のミサイル技術開発の集大成である。

*パレスチナ・メディア：ラファ市西部で避難民が集結しているマワシ地区へのイスラエルの空爆でパレスチナ人2人が死亡した。

9月15日 11:00 am

*イスラエル・メディア（サフェド市長の言葉として）⁴：サフェドはヒズボラのレーダーに載っている。サフェド市は死んだも同然で、何とか日常生活を取り戻そうとしているが、不可能だ。

*ハアレツ：我々の調査によれば、イスラエルは亡命を希望するアフリカ人難民をガザ戦争の兵隊としてリクルートしている。

³ノヴァ音楽祭の犠牲者42人が攻防軍、警察、治安機関を、潜在的な安全上の脅威に関する警告の過失または不履行の理由で告訴。中には国防軍の発砲で死んだ者もいる事実の訴えもある。いずれにしても、封鎖で飢えている野外刑務所ガザのすぐ傍で音楽祭を行い、それに参加する神経が問われるべきであろう。

⁴サフェドはヘブライ語ではツファットと呼び、ガリラヤ地方の都市。

*WALLA：イエメンのミサイル発射を検知できるはずのイスラエルと米国のスパイ衛星はミサイル発射を探知できなかった。

*イスラエル軍：我々はイエメンのミサイルの探知が遅れた理由を調査中である。

*フーシ派：フーシ派の政治局員のハザム・アル・アサドは「イスラエルへのサブライズはまだまだ続くぞ」と言った。

*アル・マヤデーーン：ネツァリム回廊に多数のロケットが着弾した。

*イエメンの武装組織：パレスチナを占領しているシオニスト国の中心部を標的にした質の高い軍事行動を行ったことを11：30に発表する。

*イスラエル救急隊：イエメンからの弾道ミサイルがテルアビブ付近に着弾し、シェルターに駆け込むイスラエル人9人が負傷した。

*パレスチナ・メディア：イスラエルの軍艦がガザ回廊中部のヌセイラトの避難民テント村を砲撃し、二人のパレスチナ人が負傷した。

*レバノン国営通信：イスラエル空軍機が南レバノンのワッザーニ地区に、住民に立ち退くことを勧めるピラを撒いた。

*チャンネル12：南レバノンから発射されたロケット群のためにゴラン高原のいくつかの地区で火事が発生。消防団が火事の拡大を防ぐ防火活動を行っている。

*アル・カッサム旅団：我々は、ラファ東部のアル・ジャニーナ地区で、イスラエルの軍用ブルドーザー「D9」型をヤッシン105砲で攻撃するなど、複合的攻撃を行った。

*イスラエル軍：我々はイエメンから発射されたミサイルは2000キロメートル飛行してイスラエルへ到達し、15分間で東部からイスラエル領空を突破したことを確認した。

*イスラエル警察：イエメンのミサイルはテルアビブのベン・グリオン空港近くの地域にある町クファル・ダニエルに着弾し、森林が燃え、モディーン地区の列車の駅が損壊した。

9月15日 10：00am

*イスラエル・メディア：北部方面隊の元司令官がヒズボラに対する軍事行動を起こす前にハマスとの捕虜交換を実現する必要性を強く主張した。さらに、彼はガザ戦争の「戦後処理」に関する戦略的議論がないことに抗議した。

*イスラエル労働党指導者：前線を縮小するどころか、展望と統治能力のない現政府は我々を国民をますます戦争の泥沼に引きずり込み、国内紛争を激化させている。

*イスラエル陸軍ラジオ放送：この2日間で合計約150発のロケットが南レバノンからイスラエル北部へ発射された。

*ヒズボラ：我々はマトラ基地のイスラエル兵を自爆ドローンで攻撃し、直撃したことを確認した。さらに、アル・マリキヤ基地の技術システムを自爆ドローンで攻撃し、破壊を確認した。

*イスラエル・メディア：上ガリラヤ地域会議はロケット弾発射という非常事態を想定し警戒態勢を敷き、学校の授業開始時間を11：00まで延期することを発表した。

*フーシ派：フーシ派の報道機関の副議長はイスラエルの防空システムがイエメンから発射したミサイルを検知して迎撃できず、ミサイルが標的に届いたことを発表した。

*チャンネル13：軍の観察によれば、この数時間で南レバノンからイスラエル北部へ向けて約40発のロケットが発射され、いくつかは迎撃したが、何発かは空地に着弾した。

9月15日 09：00am

*ヒズボラ：我々は今日「ラウイエ」兵舎の第188機構旅団の指揮本部を数十発のカチューシャロケット弾で攻撃した。

*アル・マヤデーーン（イエメン情報筋の言葉として）：イエメンの武装組織は、紅海の米国艦隊の防衛システムを研究したように、敵イスラエルの防衛システムを入念に研究している。

*マアリブ：イスラエルの防空システムの元空軍司令官はイエメンのミサイルは1700キロメートルを13～15分で飛んでテルアビブに到達したと言った。